

星屑

2015 年 11 月号

No. 488



すばる

ペンタックス 105SDHF D:105mm f1:700mm 直焦点

熊本県民天文台にて 艶島氏撮影

熊本県民天文台

9/18(金) 熊本県民天文台 開設の要であった

宮本幸男 さんが逝去されました

享年93才

宮本幸男さん、謹んでご逝去を悼み、生前に頂いた熊本天文研究会と熊本県民天文台、並びにアマチュア天文界への温かいご指導と惜しみないご献身に対し、あらためて心からお礼申し上げます。

私が、初めて宮本さんのお宅に伺ったのは35年ほど前のこと。日本で初めて、天体写真撮影用のライトシュミットカメラの自作に成功され、活躍されていた頃でした。素晴らしい星野写真を撮影されただけでなく、天文書籍等を通じてその成果を公表され、熱心に普及にも取り組んでおられました。



当時熊本市琴平町にあったご自宅は、アマチュア天文家たちが連日のように集まって来ては、深夜まで天文談義に花を咲かせるといった具合で、今思い出せば、大変なご負担をおかけしたはずなのです。でも、宮本さんも奥様も、いつも笑顔で受け入れて下さり、私達若い世代への支援を惜しむことがありませんでした。

そこから、当時の熊本天文研究会を母体に、熊本県民天文台建設構想が生まれ、あっという間に力を得て天文台の建設が実現しました。微力な多くのアマチュア天文愛好家たちの力を1つに結集させ、企業や市民団体だけでなく一般の県民・市民まで、幅広く地域社会に賛同を広げ、資金協力の波を生み出されました。この時、私たちは宮本幸男さんのとてつもない包容力の大きさを知りました。

開設以来33年余、熊本県民天文台は、宮本さんが切り拓いて下さった道を進んで、活発に活動を続けています。県民天文台で星空を楽しんで下さった方々の数は、すでに10万人を大きく超えています。さらに、天文台に集う仲間たちだけでなく、宮本さんに触発された多くの天文愛好家たちが、全国各地で活動を続けているはずです。

お礼の言葉はつきることがありません。これからも、あなたへの想いを胸の中に燃やし続け、私たちは宮本幸男さんと共に切り開いた道を進み続けます。

どうぞ、星空から、いつまでも私たちの歩みを見守って下さい。

これを持ちまして、お別れの言葉と致します。

平成27年9月19日

特定非営利活動法人 熊本県民天文台
台長 艶島 敬昭

9/25(金) 武蔵ヶ丘コミュニティーセンター で

コミセン主催の **「星の観察会」**

望遠鏡を持参したけれど、今年度初の「完璧な曇天」
室内での「天文講座」になりました!



9/25(金)、武蔵ヶ丘コミセンでの「星空観察会」今年度初(?)のドン雲りで、月さえ見え
ずじまい。「晴れ間が出るかも?」と考えて、望遠鏡を持参していましたが、ついに晴れ間は
出ずじまい、室内での「天文講座」となりました。参加者は、20名余、だったでしょう。

1. 秋の星座の星座物語と星座の解説
2. 冬の星空解説
3. 冬の星座の星座物語
4. 太陽はひとりぼっち? (連星についての解説)
5. デジカメで天文学 「馬頭星雲の距離を求める」
6. 解説の途中などで、質疑・応答

始まる前に、県民天文台の41cm望遠鏡とタブレットの内蔵カメラで撮影した「半月」の画
像を見てもらいましたが、「良く撮れている、すごい!」と、とても受けました。

解説が終わった後、「デジカメ写真から、馬頭星雲の距離が分かるってのが、とても面白
い!」、「そんなこともできるのですね!」と、わざわざ感想を伝えて下さった方がいらっしゃい
ました。

ちびっ子から高齢の方まで、幅広い年齢層だったので、内容をどうするか、悩みまくった
「講座」でしたが、意外な内容が参加者に受けるんだなあ・・・と、思いました。

小学生の男の子からは、「海王星」についての質問がありました。大好きなゲームだかア
ニメだかの中に「海王星」が出てくるのだそうです。子ども達の宇宙観、何によって、どん
なふう形成されているのか、調べてみると面白そうです。

9/26(土) 熊本県文化企画化主催

処 熊本県民天文台

フィールドミュージアム「月を観察し写真に写そう」

最初は曇り、しかし、だんだん晴れ間が広がって…

■参加者 お客さん 62 名、県スタッフ 3 名、講師 中島、西嶋、高田

■望遠鏡 15cm 屈折、10cm 屈折、41cm 反射

今年度 2 回目のフィールドミュージアムが天文台で開催されました。

しかし、当日はベタ雲。主役の月が見えていませんし、雨の心配もありました。

「これで、お客さん来るのかな〜。」と心配していましたが、とりあえずスタッフで準備をしておきました。

ところが開催前になると次々と参加家族がやってきます。あっという間に天文台前の広場はいっぱいになりました。肝心の月というと 7 時ごろちらっと顔を出したのですがすぐ見えなくなりました。



会は、メインのキャスターを西嶋さんがつとめられ、月に関するクイズから始まり、月の写真撮影についての説明とペットボトルでの実習とつづきました。そして月の名所めぐりの西嶋さんの名調子がいよいよというときに、なんと月が見えてきました。

さっそく、野外の屈折 15cm と 10cm、観測室の 41cm と 3 台の望遠鏡で対応。時々雲が広がる中、観望と写真撮影をおこなって、なんとか全員月の画像をものにしました。

その間、曇った時には月の名所めぐりで西嶋さんがみんなの興味を引き付けてくれました。また、ベトナムの月の話の電子紙芝居は、まるで日本昔話のような味わいがありました。

昔、熊本市博物館のプラネタリウム番組で、TKU アナウンサー・矢部絹子さんの名語りがあったのですが、それに劣らない立派なものでした。これを機に、西嶋さんの「芸名」を考えなければいけないな、ということで中島さんと相談して付けた名が「城南好美」。

99
{...}
(安)



みんなで記念撮影

9/27(日) 中秋の名月 33名超、天文台は賑わいました

33名超の来台、しかもほとんどの方が月の写真撮影に挑戦、22時まで大賑わいでした。望遠鏡では、土星・アークトゥルス・月を観察し、月の撮影に何度も挑戦して、大喜びでした。

望遠鏡を買いだめという子ども連れの家族、県民天文台について熱心に質問する人、天体写真について興味深そうにいろいろな質問を投げかけてくれる人、いろいろな人がいて楽しかったです。

募金もたくさん入ったし・・・、先日補給したのに、お土産写真が欠品してしまうほど。

でも、運営担当が私一人だけだったので、ちょっぴり大変でした。

マスコミ数社さんから、スーパームーンについての問い合わせもありました。

9/28(月) 菊陽町 ふれあいの森研修センター で 「星空観察会」土星と月・月面撮影

土星と月を観察し、スーパームーンの満月を撮影して頂く計画でしたが・・・



■ 参加者

7組18名 + スタッフ3名 でした。

■ 準備

15cm屈折を持参し、一旦は組立終わったのですが、その直後に、黒雲が広がり、怪しい風が吹いたので、鏡筒や駆動装置を取り外し、待機状態にしておきました。

一方で、研修室内にプロジェクターを据え、センター所有のポルタ経緯台+屈折鏡筒や、持参した三脚+双眼鏡などを設置し、早めに到着した参加者達に触ってもらいました。

■ 解説

月面写真の紹介、撮影法の説明

季節の星空と周りの宇宙との関係（春や秋には遠くの宇宙が見えている、も）

星座早見の使い方

一段落したところで、質問を誘ったら、小学生から「星や宇宙はどうやって生まれるのか」と、聞かれました。そこで、星の誕生と死、星空は影絵の世界を解説。そうしたら、ブラック

ホールはどうやってできるのか、本当にあるのか、など、次々に質問がありました。

「ブラックホールはあるか」の電子紙芝居を上演して、質疑を終了。さらに、「次回(10/16)の観察会は、月が無いので素晴らしい星空が見えるはず。ブラックホールの在処や、アンドロメダ銀河を見ましょうね」と、次へのつながりを提案しておきました。

あっという間の1時間半でした。

10/8(木) 菊陽西小学校 6年生 まとめの授業

「月と太陽」 130名の熱気に包まれ

月や太陽の画像、地球の模型などを使いながら解説、そして質疑



まとめの授業を！

「昨年同様、お願いします」と菊陽西小学校の高浪先生から要請がありました。1時限分の時間を確保したということでしたので、昨年よりも内容を絞り込むことにしたのですが、事前に子ども達から届いた「質問」や「知りたいこと」の内容は、昨年よりも幅広くしかも深い内容が多いのです。これには困ってしまいました。できるだけたくさんの画像や動画を見てもらいたいし、子ども達が自分で考えられるような素材と切り口も提示し、科学的な好奇心に火をつけたいわけですから。

それで、教科書的にきっちりとまとめることはやめました。

普段目にしているはずだけど、たぶん注意を払って見てはいないだろうなと思えることを、まず最初に提示してみることに決めました。選んだのは、天文台で撮影した見事な夕焼け雲の写真です。まだ青い空、真っ赤な夕焼け雲、そして、黄金に輝く太陽の残光。時間と共に移りゆく夕空の色彩に注意を喚起しました。

次に提示したのは、東の地平線から昇る月(黄色く見える)、昇りきった満月(スーパームーン)の白い輝き、など。

それから、電子紙芝居を使って、これらの色の違いがどうやって起こるか、解説しました。

月面の写真やビデオも

タップリ見てもらいました。月や地球が誕生してから46億年間の間に月面に衝突した隕石や微惑星の大きさや数などについても解説したら、「ウサギの模様の成因が分かった!」と喜んでいる子がいました。他に、地球・月・太陽の大きさとそれぞれの距離、見かけの大きさなども解説しました。

質問を誘ったら

「待ってました!」とばかりに、たくさんの手が上がりました。「宇宙の広がりとは、どれくらいあるのか?」、「星の形は、どんな形?」、「天体はなぜ丸くなるのか」、「太陽の温度は?」、「太陽黒点は何? その温度は?」、「月に人が住むことができるか?」などなど。

一つ一つに答えていたら、あっという間に、終了の時間になってしまいました。



★★★ これからのスケジュール ★★★

10/16（金） 菊陽町ふれあいの森研修センター

「星空観察会」 夏の星座、秋の星座、条件が良ければ「天の川」

★★★ 19:30～ 22:00 菊陽町ふれあいの森で開催 ★★★

10/17（土） 菊池川自然塾

特別テーマ観察学習コース 「夏・秋の星座と月の地形」

星と月の観察の仕方を学ぶ

特別講師 磯部博志、高田祐一

★★★ 16:00～ 20:00 ゆめほたる（山鹿市）で開催 ★★★

12/4（金） 城南公民館講座

「星空観察会」 秋の星座、冬の星座

☆☆☆ 19:30～ 21:30 県民天文台で開催 ☆☆☆

ちよつと一服

Poem & Illustration

今年は熊本には珍しく秋らしい秋が9月にやってきました。残暑がぶり返すかと思いましたが、10月に入ってもさわやかなお天気。日没と同時にさあっと気温が下がっていくのがわかります。で、日中見事に晴れていたのに、夕方から雲がわくというパターンが…ただし、湧いては消え湧いては消えしながら夜が更けると晴れてくるという…一般公開のお客様にはとても迷惑なお天気。とはいえ、やっと星が見えるようになって、楽しめる夜が増えてきました。

さて、今年の中秋の名月はスーパームーンだったのですが、皆さん見られたでしょうか？天文台での前日の観月会は雲だらけ。雲間の月を急いで見ていただく感じでした。望遠鏡で見たり、コリメート撮影したりするのではなくて、ただ空を見上げて月を愛でるのだったら、雲間の月もなかなか風流でよかったかもしれません・・・



すっぱあむうん

ずっと 待っていた

いつからだろう
記憶の向こうの
船の月から

探していた船着場は
逃げ水のように
熱帯夜の夢の中に溶けていき
まとわりつく 空気の重さに
立ちすくむしかなかった
あの日から

ひたすら足元を見つめていた目の端に
河原のススキが揺れて
視線を引っ張っていったので
やっと 頭を上げることが できる

すっぱあむうん (口をつぐんだまま反芻する)

今夜の月は
ちょっぴり 大きい



By Dio

2015年9月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 10日／12日＝83. 33%
一般来台者数 350名

総開台日数 14日
会員来台数 34名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
3 日 (木)	くもり	艷島	126 人	豊野少年自然の家 小川中学校 1 年生 星の観察会 詳細は先月号参照
4 日 (金)	晴れの ち曇り	小林 J 西嶋 高田	1 3 人	土星 日没後は快晴だったのに、お客様が来られる 直前に曇りました。ほぼべた曇りの中、かろう じて土星を観望。雲間の夏の大三角形の解説。
1 1 日 (金)	快晴	小林 J 西嶋 高田 中島	1 1 人	土 星、W W、ア ン ド ロ メ ダ ッ M4,M6,M22,M8,M57,M41,NGC7293,ペガ 久々の快晴です。天の川がきれいに見え、お客 様も大喜びでした。20 時に実験ロケットの打 ち上げも見えました。 星屑の印刷・折り込み（午後）
1 2 日 (土)	晴れの ち曇り	中島 艷島小林 J 小林 M 西嶋 北川 吉田	1 2 人	土星・フォーマルハウトなど 雲が流れる中時々星が見える状態。残念ながら 土星を見られない子どももいてかわいそうでし た。 Talk About 星屑發送 来月の予定など
1 3 日 (日)	晴れ	艷島 小林 M	1 人	土星、アルタイル、M13,M27 直焦で M27 を撮影して見せたら「アルタイル を撮りたい」とのこと。持参された NikonD5300 で撮影してもらいました。「友人を誘って入会 したい」とおっしゃっていました。本人は看護 師、友人は医師らしいです。
1 8 日 (金)	晴れ	小林 J 西嶋 高田	3 人 + 学 生 4 人	土星、月、M13,M22,アンタレス,アントロメダ γ,h-x,カペラ, ベガ,ww,スパル 小学 1 年生の古賀星の数を数えていました。h-x が 4 5-4 8 個、スパルを 3 0 個と数えた。すご い！ 宮本幸男さんのお通夜でした。

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
1 9 日 (土)	曇りから 晴れ	中島 西嶋	1 8 人	月、土星、アンタレス、M13,M22,M8,アンドロメダ ッ等 小さい子どもがたくさんでとにかく大変でしたが、とても皆さん熱心でした。 宮本幸男さんのご葬儀でした。
2 0 日 (日)	晴れの ち曇り	艷島 小林 J	5 人	月、アークトゥルス、M13 朝日新聞石川記者取材
2 1 日 (月)	晴れ	艷島	1 2 人	月、土星、アークトゥルス、ベガ、WW 半月だったので欠け際のクレーターが見事でした。皆さん月を撮影できてとても感動して下さいました。解説もたっぷり楽しんでいただきました。
2 2 日 (火)	晴れ 曇り	艷島 中島 西嶋	6 人	月、ベガ フィールドミュージアム打ち合わせ
2 5 日 (金)	曇り	艷島	2 0 人	武蔵ヶ丘コミュニティーセンター 「星の観測会」 詳細は記事参照
2 6 日 (土)	曇り時々 晴れ	中島 高田 西嶋	6 5 人	フィールドミュージアム「月を観察し写真に写 そう」曇り空の合間に時々月が見えて、何とか 写真まで撮れて満足していただきました。 詳細は記事参照
2 7 日 (日)	晴れ	艷島	3 3 人	土星、アークトゥルス、月 中秋の名月・スーパームーンだからでしょう か？たくさんのお客さんで賑わいました。月の 撮影にチャレンジする人、望遠鏡を海退という 子ども、熱心に質問する人、それぞれ楽しんで 下さったようです。
2 8 日 (月)	曇り	艷島	2 1 人	菊陽町ふれあいの森研修センター観察会 詳細は記事参照

元天文台長の宮本さんが亡くなった。熊本の天文界のへそがなくなったような気がする。詳しいことは今月号の追悼記事や、来月号で予定されているみなさんからの追悼の言葉の中でいろいろと語られるだろう。現在の天文台ができる原動力となった宮本さんのことは、これからも天文台の中で語り継いでいきたい。ご冥福をお祈りします。

最近、一気に秋めいてきましたね。朝晩の涼しさ…、いや肌寒いくらいです。それでも熊本は、日中まだまだ暑いですが。それでも空は秋めいて、スッキリ青空が多く、今のところ晴れが多くなってきました。このまま晴れが多いと良いんですが…、まだまだ台風シーズンですから気が抜けません。災害は、忘れた頃にやってくる。今一度、懐中電灯や無線機のチェック、おっと機材の点検等お忘れ無く。

☆ 11月の天文現象 & 行事 ☆

- 3日(火) 金星と火星が最接近(16:38)
下弦(21:24)
- 6日(金) おうし座南流星群が極大のころ
- 8日(日) 立冬(りっとう … 冬の始まりで、これより次第に冷氣深くなる)
- 12日(木) 新月(02:47)
- 13日(金) おうし座北流星群が極大のころ
- 14日(土) トークアバウト(20:00～ 変更の場合あり)
- 17日(火) 18日にかけて、しし座流星群が見られる
- 18日(水) しし座流星群が極大
- 19日(木) 海王星が留(06:30)
上弦(15:27)
- 21日(土) 火星が遠日点を通過
- 23日(月) 小雪(しょうせつ … 寒気つゆのり、雨凍って雪となるという意味)
- 26日(木) 満月(07:44)
アルデバランの食(18:00 福岡:暗緑から出現)
- 30日(月) 土星が合(16:28 0.4等 視直径15.1")

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2015年11月号 通巻488号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで